



会社概要

設立経緯 ～かごしま材の新需要開拓～

伊万里木材市場は2011年12月九州営業所を曾於市に開設し、鹿児島県産材の需要先を確保する上で、製品のJAS化が必要不可欠であると考え、かごしま材JAS製品流通加工センター施設を整備しました。また、大手ハウスメーカーから枠組壁工法構造用製材(2×4用材)の国産材化の依頼を受け、国産材での2×4用材の安定供給体制を構築しました。

株式会社さつまアindowoodは、国産材2×4用材の量産ラインを整備し、かごしま材の新需要開拓を目指した生産拠点として、かごしま材の利用拡大をはかり、大手ハウスメーカーとの継続取引契約に基づいた安定した事業経営を行います。

[商号] 株式会社さつまアindowood

[所在地] 鹿児島県霧島市

国分上野原テクノパーク1247-23

TEL:0995-73-8186 FAX:0995-73-8187

[資本金] 4,000万円

[設立] 平成25年11月22日

[代表者] 代表取締役 林 雅文

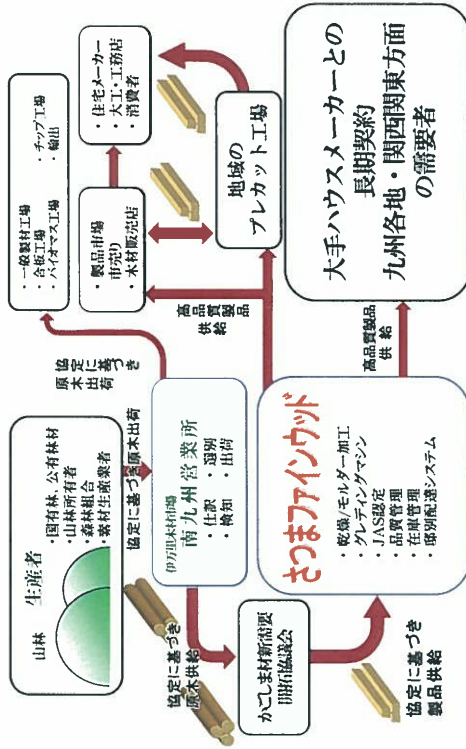


事業概要

サブプライチエーン構築

さつまアindowoodは、「かごしま材JAS製品流通加工プロジェクト」を立ち上げ、鹿児島から新たな木材の流通加工供給システムを実践します。

鹿児島県内の川上・川中・川下が一体となった原木生産のサブプライチエーンを通じ、県内外の需要者及び住宅メーカーにジャストインタイムで高品質な木材製品を供給いたします。



1. 豊富なかごしま材の蓄積量
2. 伊万里木材市場のカスケード利用へ原木の供給体制
3. かごしま材新需要開拓協議会の製材工場群
4. さつまアindowoodの木材を工業製品化する生産システム

営業内容

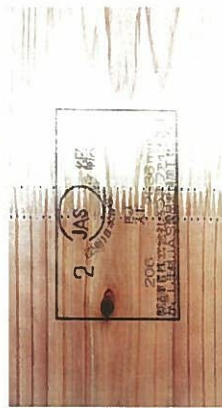
ラフカットされた枠組み壁工法構造用製材(2×4用材)及び構造用製材を製材業者から購入し、天然乾燥、人工乾燥、強度測定、モルター加工、品質検査を経てJASマークを印字する工程を一連とし、生産を行います。

○天然乾燥
土場にて3ヶ月～4ヶ月程度の天然乾燥

○人工乾燥
マレーシア製のバイオスライヤーによる人工乾燥

○強度測定
MSR機(グレーディングマシン)による全量検査

○品質検査
枠組壁工法構造用製材の日本農林規格
製材の日本農林規格





高速モルダラーによる大量生産

2×4工法

枠組壁工法(2×4工法)は、木造軸組工法やプレカット工法と並ぶ木造住宅工法の一つです。2×4工法は、2×4部材と構造用合板等を使い、パネル(壁、床、天井)をつくり、これを組み立て建物を構築します。北米由来の工法であり現在では、世界各国に普及しています。日本においては、昭和49年からオープン化され、住宅工数を増やし続けています。

2×4工法の特徴

1. **耐震性に優れている。**
枠組壁工法により、面構造を構築し、建物全体で外力を分散することにより、一部分に集中する事を防ぐ為、地震に強くなります。
2. **耐火性に優れている。**
部材相互の密接度が高い為耐火性に優れている。また、断面の大きい木材は燃えたと表層部が炭化して、延焼の進行を止めます。中心部は残っている強度は保ったままとなります。
3. **施工が早い**
工法がマニュアル化されており、パネルを建てこむ方式なので施工がしやすい。使用する部材は規格の種類が少ないので取扱いが容易です。加えて使用する釘は専用のものを使用するので品質にバラつきのない住宅を建てる事が可能です。
4. **気密性に優れている**
パネルを組み合わせる工法のため部材相互の気密性が高くなります。そのため、断熱性と保温性、遮音性にも富んでいます。



全量検査・抽出検査

含水率検査



強度測定



破壊試験(抽出)



煮沸試験(抽出)



製品品質～たわみと曲げ強度の相関～

